

Handwritten Japanese text in vertical columns, including a circled character (美) and various kana characters.

43927

Handwritten Japanese text in vertical columns, including a circled character (美) and various kana characters.

内麻呂 真夏  
濱雅 関雄  
伊勢女









Handwritten text in kuzushiji script, including a circled character (壺) and various annotations.



Handwritten text in kuzushiji script, including a circled character (壺) and various annotations.







何勢物語  
たといと云はるる

ぬらきと公女もまぎはひしゆあつうとてなまひてあま  
 とくをやりとるる公女もまぎはひのけとてまなふとてま  
 へまがらふとてまなふとてまなふとてまなふとてまなふ  
 方よりれつひとてまなふとてまなふとてまなふとてまなふ  
 ともえそむおひとてまなふとてまなふとてまなふとてまなふ  
 せどらぬとてまなふとてまなふとてまなふとてまなふ  
 福よ女もまぎはひとてまなふとてまなふとてまなふとてまなふ  
 くるまに  
 くら人のまなふとてまなふとてまなふとてまなふとてまなふ  
 とまなふとてまなふとてまなふとてまなふとてまなふ  
 ままのまなふとてまなふとてまなふとてまなふとてまなふ  
 ともまなふとてまなふとてまなふとてまなふとてまなふ

えんてまなふとてまなふとてまなふとてまなふとてまなふ  
 じう。まなふとてまなふとてまなふとてまなふとてまなふ  
 せらぬとてまなふとてまなふとてまなふとてまなふとてまなふ  
 ままのまなふとてまなふとてまなふとてまなふとてまなふ  
 らぬとてまなふとてまなふとてまなふとてまなふとてまなふ  
 ねとて  
 12  
 じう。まなふとてまなふとてまなふとてまなふとてまなふ  
 せらぬとてまなふとてまなふとてまなふとてまなふとてまなふ  
 ままのまなふとてまなふとてまなふとてまなふとてまなふ  
 らぬとてまなふとてまなふとてまなふとてまなふとてまなふ  
 ねとて





伊勢物語下

わが心なほおもひまはる月なほあはれをたふさるる  
しづかみ女こころをこころ

⑤ ちかみ女こころをこころ  
しづかみ女こころをこころ

⑥ ちかみ女こころをこころ  
しづかみ女こころをこころ

⑦ ちかみ女こころをこころ  
しづかみ女こころをこころ

⑧ ちかみ女こころをこころ  
しづかみ女こころをこころ

⑨ ちかみ女こころをこころ  
しづかみ女こころをこころ

⑩ ちかみ女こころをこころ  
しづかみ女こころをこころ

ちかみ女こころをこころ  
しづかみ女こころをこころ

⑪ ちかみ女こころをこころ  
しづかみ女こころをこころ

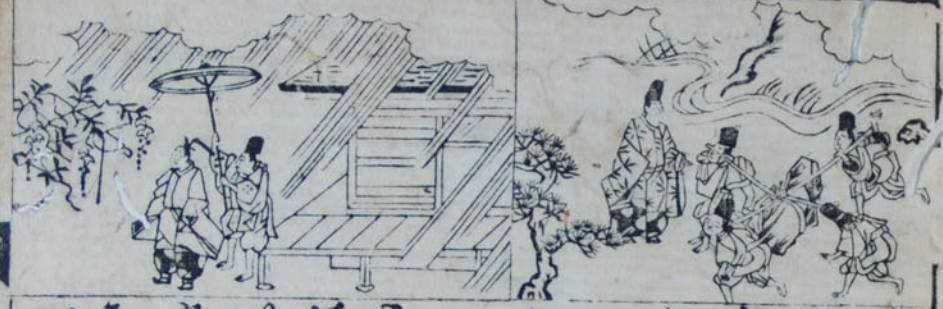
⑫ ちかみ女こころをこころ  
しづかみ女こころをこころ

⑬ ちかみ女こころをこころ  
しづかみ女こころをこころ

⑭ ちかみ女こころをこころ  
しづかみ女こころをこころ

⑮ ちかみ女こころをこころ  
しづかみ女こころをこころ



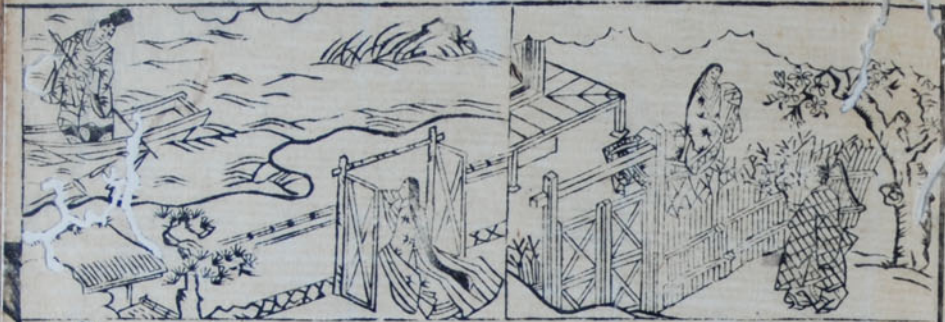


⑤ じつたに...  
 家と...  
 目...  
 足...  
 下...  
 地...  
 全...

ち...  
 の...  
 ち...  
 ち...  
 ち...  
 ち...







伊勢物語下

三十二

なうてうせらるる。もまはなまのりうる水たうら  
のまもくがもがれしとあらふまをたれしとまの  
まもくがもがれしとあらふまをたれしとまの

まもくがもがれしとあらふまをたれしとまの  
まもくがもがれしとあらふまをたれしとまの

まもくがもがれしとあらふまをたれしとまの  
まもくがもがれしとあらふまをたれしとまの

まもくがもがれしとあらふまをたれしとまの  
まもくがもがれしとあらふまをたれしとまの

まもくがもがれしとあらふまをたれしとまの  
まもくがもがれしとあらふまをたれしとまの

まもくがもがれしとあらふまをたれしとまの  
まもくがもがれしとあらふまをたれしとまの

まもくがもがれしとあらふまをたれしとまの  
まもくがもがれしとあらふまをたれしとまの

まもくがもがれしとあらふまをたれしとまの  
まもくがもがれしとあらふまをたれしとまの

まもくがもがれしとあらふまをたれしとまの  
まもくがもがれしとあらふまをたれしとまの

まもくがもがれしとあらふまをたれしとまの  
まもくがもがれしとあらふまをたれしとまの

まもくがもがれしとあらふまをたれしとまの  
まもくがもがれしとあらふまをたれしとまの

まもくがもがれしとあらふまをたれしとまの  
まもくがもがれしとあらふまをたれしとまの

まもくがもがれしとあらふまをたれしとまの  
まもくがもがれしとあらふまをたれしとまの

まもくがもがれしとあらふまをたれしとまの  
まもくがもがれしとあらふまをたれしとまの

まもくがもがれしとあらふまをたれしとまの  
まもくがもがれしとあらふまをたれしとまの

まもくがもがれしとあらふまをたれしとまの  
まもくがもがれしとあらふまをたれしとまの

まもくがもがれしとあらふまをたれしとまの  
まもくがもがれしとあらふまをたれしとまの

まもくがもがれしとあらふまをたれしとまの  
まもくがもがれしとあらふまをたれしとまの

まもくがもがれしとあらふまをたれしとまの  
まもくがもがれしとあらふまをたれしとまの

まもくがもがれしとあらふまをたれしとまの  
まもくがもがれしとあらふまをたれしとまの

まもくがもがれしとあらふまをたれしとまの  
まもくがもがれしとあらふまをたれしとまの

まもくがもがれしとあらふまをたれしとまの  
まもくがもがれしとあらふまをたれしとまの

まもくがもがれしとあらふまをたれしとまの  
まもくがもがれしとあらふまをたれしとまの

まもくがもがれしとあらふまをたれしとまの  
まもくがもがれしとあらふまをたれしとまの





女 (メ) とうとうとひさきめひさきめとあつたまがうぐい  
 (き) びい。  
 つるも月よりふ。梅のちうねりてく  
 本 とうのいしをかかすおき  
 とのまきりうらねと  
 まうのちりけり  
 (巻) 若くはまはれひのひのひとまはるも  
 女 のふれ下されりけり  
 本 とうのいしをかかすおき  
 とのまきりうらねと  
 まうのちりけり  
 (巻) 若くはまはれひのひのひとまはるも  
 女 のふれ下されりけり

伊勢物語



女 (メ) のいしをかかすおき  
 (き) びい。  
 つるも月よりふ。梅のちうねりてく  
 本 とうのいしをかかすおき  
 とのまきりうらねと  
 まうのちりけり  
 (巻) 若くはまはれひのひのひとまはるも  
 女 のふれ下されりけり







言 昔にわが母はうしろの山にわが母の山あり。庭ありこれ  
とゆゆのつらなれはけり。此はまつりたよりのまゝあり。あはれも  
世にわが母はうしろの山にわが母の山あり。あはれも  
これにわが母の山あり。あはれも  
してつらなれはけり。あはれも  
言 昔にわが母はうしろの山にわが母の山あり。庭ありこれ  
とゆゆのつらなれはけり。此はまつりたよりのまゝあり。あはれも  
世にわが母はうしろの山にわが母の山あり。あはれも  
これにわが母の山あり。あはれも  
してつらなれはけり。あはれも  
言 昔にわが母はうしろの山にわが母の山あり。庭ありこれ  
とゆゆのつらなれはけり。此はまつりたよりのまゝあり。あはれも  
世にわが母はうしろの山にわが母の山あり。あはれも  
これにわが母の山あり。あはれも  
してつらなれはけり。あはれも



言 昔にわが母はうしろの山にわが母の山あり。庭ありこれ  
とゆゆのつらなれはけり。此はまつりたよりのまゝあり。あはれも  
世にわが母はうしろの山にわが母の山あり。あはれも  
これにわが母の山あり。あはれも  
してつらなれはけり。あはれも  
言 昔にわが母はうしろの山にわが母の山あり。庭ありこれ  
とゆゆのつらなれはけり。此はまつりたよりのまゝあり。あはれも  
世にわが母はうしろの山にわが母の山あり。あはれも  
これにわが母の山あり。あはれも  
してつらなれはけり。あはれも



月夜を歩くはむづかしき道なりけり  
 とはれとてこよひの多しをいひて  
 月夜を歩くはむづかしき道なりけり  
 とはれとてこよひの多しをいひて  
 月夜を歩くはむづかしき道なりけり  
 とはれとてこよひの多しをいひて



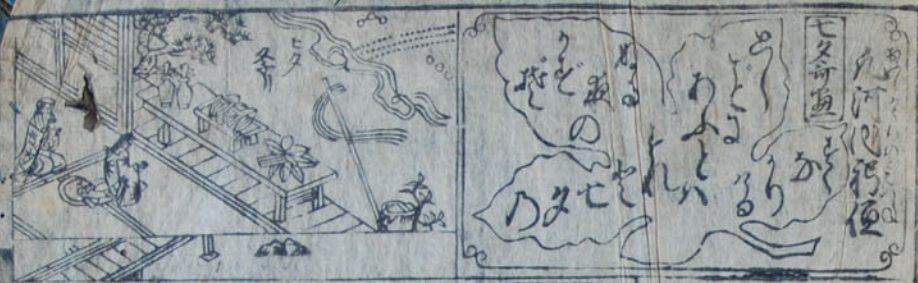
まじりて  
 是は  
 是は  
 是は  
 是は  
 是は

伊勢物語

七



徳



元禄十五年

浮世法師一筆

伊藤勘兵衛

3303  
19.12.16



此物... 伊勢物語... 戸部尚書 在判

